

【記載例（一般船舶用）】

第二十号書式（第七十三条関係）（日本産業規格A列4番）

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>災害疾病発生状況報告書（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）</span> <span>〔① <u>災害</u> ・ 疾病〕</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>沖縄総合事務局長 殿</span> <span>令和4年4月5日提出</span> </div>										
主たる船員の労務管理を行う事務所					船舶所有者(本社)					
所在地： (電話)					住所(所在地)： (電話)					
名称					氏名(名称)					
担当者氏名					常時使用する船員数					
発生年月日	年	月	日	船員の年齢	歳	性別	男・女	職名	国籍	日本人・外国人
②船舶の用途			総トン数	トン	③傷病名				④作業員数	人
⑤ て ん 末	1) 災害発生場所 右舷通路を通過して、 2) 災害発生時の作業 出港準備のため船首の作業灯を点灯するべく船首甲板に行く途中に、 3) 災害発生の原因 (Ⅰ 気象、海象 Ⅱ 船舶・船内設備、積荷等 Ⅲ 作業行動、船内における作業環境) Ⅲ 荷役装置につながれている係船ロープが片付けられておらず、また、Ⅰ うねりもあり、Ⅲ 夕方で見えにくかったため、 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなどの数字は記入しなくても結構です。 4) 発生した災害の内容 荷役装置につながれている係船ロープにつまづき転倒し、ビットに胸部を打撲した。 5) 災害を防止するために講じた措置又は講じようとする措置 うねりを考慮し、船首まで行かなくてもいいよう作業灯スイッチを船橋内に設置する。整理整頓の慣行する。通路にも照明施すか懐中電灯を持参する。ビットを常用しない時は、スポンジを入れた袋で覆いする。									
	⑥休業日数	日	⑦身体障害				⑧下船・退職等			